

## 授業案の例(学問分野別科目)

### 例1

授業科目	歴史学入門
授業題目	アジアの歴史と文化
キーワード	アジア, 中国, 歴史, 文化
授業概要	初めに歴史学の学問分野について俯瞰し, 歴史学とはどのような学問か, 歴史的なものの見方・考え方とはどのようなものか, 等の点について説明する。次いで中国を中心とするアジアの歴史と文化について説明する。具体的には中国の近世, 特に宋・元代を中心に, 政治・社会・経済・文化・国際情勢等を取り上げ, 説明する。最後に総まとめと振り返りを行う。

### 例2

授業科目	生物学入門
授業題目	果樹栽培技術から見た植物の生理・生態
キーワード	果樹, 栽培技術, 植物生理
授業概要	生物学は農学の基礎学問の一つであると, よく言われる。一方, 作物を栽培する中で, 収量を増やしたり, 品質を高めたりするために, 我々はさまざまな栽培技術を駆使し, また技術開発のための研究をしている。その基礎に植物学の知見があることは間違いないものの, 逆に栽培過程から植物の生理や生態を見てみるとどうなるか。この講義を通して考えてみたい。

### 例3

授業科目	地学入門
授業題目	地球の姿と地球の歴史
キーワード	地球環境, 生命の変遷, 大地の変動
授業概要	私たちの住み処である地球について幅広く知り理解を深めるため, 気圏, 水圏, 岩圏の構成や相互作用を, 環境問題や暮らしとの関係, そして日常見られる諸現象などを交えながら説明する。続いて地球誕生から現在に至る地球環境の変遷と生命の歴史を概観し, 現在の地球環境が作られてきた過程や環境と生物の関わりについて理解を深める。最後に近い将来の課題として, 南海地震などの自然災害に関わる大地の変動や防災について触れる。なお小レポートや中間のふり返しを入れながら, 知識の定着を目指す。

### 例4

授業科目	人間科学入門
授業題目	人間形成を取り囲む制度や方法—教師に求められる資質から人間のあり方を考える
キーワード	教育的関係, 子ども理解, 経験と成長
授業概要	まず, 「人間とは何か」を捉える様々な方法を概観する。次に, 教師に求められる資質を考察することで, 人間形成のあり方を考える。前半は, 教育の起源や学校教育制度の歴史, 不登校やいじめといった現代的な教育問題を説明し, 人間形成を取り囲む制度の意味を考える力を養う。後半は, 経験や成長といった人間形成に関する基礎的な概念を, 過去の教育思想や事例を用いて説明し, よりよい教育的関係や子ども理解を探求する。

### 例5

授業科目	生活科学入門
授業題目	明治期における「美術」の誕生から工作・工芸教育まで
キーワード	工作・工芸, 「美術」, 手で考える
授業概要	明治期における「美術」や「工芸」の概念がどのように誕生してきたのかをテキストの講読を通して俯瞰していく。さらに現代の工作・工芸教育に焦点を絞り, 工作・工芸教育のエッセンスでもある「手で考える」という思考法を子どもたちの活動を追体験することによって確認する。最後に成果発表として, 学習した内容をポスターセッション形式で各グループで発表を行う。

## 授業案の例(主題探究型科目)

### 例1

授業科目	社会のしくみを考える
授業題目	マネーの供給ルートと会計の基礎知識から社会を捉える
キーワード	利益の算定・価値の概念・金融の仕組み
授業概要	はじめに、社会にとっての利益と価値について、各グループでディスカッションを行い、これに基づきプレゼンテーションを実施します。このプレゼンテーションによって期待される結論は各グループで異なりますが、同じテーマなのになぜ結論が異なるのかについて考える訓練として進めます。講義全体としては、会計と金融の基礎知識を身に付けることで、社会の動きと問題を認識できるように講義を進めます。
ALの手法	ディスカッション、プレゼンテーション

### 例2

授業科目	自然のしくみ
授業題目	古生物を通して生物のつながりや体の仕組み・機能を考える
キーワード	生物の変遷、食性・生活様式、古生物と現生生物
授業概要	化石を利用しながら、生物、特に動物の形態について考える。現在の生物を考えるために、まず生物の変遷を概説する。また、地層や化石の年代を推測する手法について、グループワークによる地層調査のシミュレーションを通じ考え方を学ぶ。その後にグループごとに調べる化石を決め、調べた内容を持ち寄り、化石の観察を行いながら、その動物についてまとめる。そして現生の動物と比較しながら、環境や食物と体のつくりの関係について考え、資料集を作る。最後に、その要点を発表会で紹介し、学習内容を発展させる。
ALの手法	ロールプレイング・シミュレーション、ペア・グループワーク、プレゼンテーション

### 例3

授業科目	生命の不思議
授業題目	生物と情報との関係を考える
キーワード	ゲノム、遺伝情報、遺伝コード
授業概要	生物と情報との関係について考える。パソコンとインターネットを使って、いろいろな遺伝子の塩基配列情報を調査・入手し、紙の上またはコンピュータ上で様々な解析や操作を試みる課題実習をグループで行うことで、遺伝情報の内容がどんなものであるか理解する。講義で遺伝情報に関する生物学的な仕組を学んだ後、遺伝情報複製ゲームや遺伝コード翻訳ゲームなどのグループ競争を行い、理解を深める。
ALの手法	調査、実習、ペア・グループワーク

### 例4

授業科目	芸術の世界
授業題目	工作・工芸教育における問題解決学習
キーワード	工作・工芸、ものづくり、芸術、問題解決
授業概要	本授業ではグループでのつくる活動(実技)を通して自ら学び、考え、実践する姿勢を形成することを目的としている。グループで取り組む課題は、進捗状況にもよるが、全15回を通して3つの課題を予定している。グループワークで得られた成果を全員の前でプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの際は、自分たちがアピールしたいポイントなどグループで話し合い、第三者に伝わりやすい内容や発表方法を検討する。
ALの手法	実技、ペア・グループワーク、プレゼンテーション